科目名	工業英語 （ Industrial English ）						
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数
第5学年	電気工学科	学修	1 単位	選択	講義	後期	45 時間
担 当 教 員	【常勤】 准教授 春山 和男						

学 習 到 達 目 標

科目の到達目標レベル	電気工学の基礎から応用にわたる英文を取り上げ,専門英語の読解力を養うとともに，入学時より学習してきた電気工学に関する基礎知識を整理する。 ①専門英語の読解力を向上する。 ②専門英語の単語・連語等を修得する。 ③入学時より学習してきた電気工学に関する基礎知識を整理できる。

到達目標（評価項目）	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安
到達目標①	例文に出てきた専門英語の文章がきちんと読解できる。	例文に出てきた専門英語の文章が3／4程度読解できる。	例文に出てきた専門英語の文章が3／5程度読解できる。	例文に出てきた専門英語の文章がきちんと読解できない。
到達目標②	例文に出てきた専門英語の単語・連語等をきちんと理解できる。	例文に出てきた専門英語の単語・連語等を3／4程度理解できる。	例文に出てきた専門英語の単語・連語等を3／5程度理解できる。	例文に出てきた専門英語の単語・連語等をきちんと理解できない。
到達目標③	例文に出てきた電気工学に関する基礎知識を整理できる。	例文に出てきた電気工学に関する基礎知識を3／4程度整理できる。	例文に出てきた電気工学に関する基礎知識を3／5程度整理できる。	例文に出てきた電気工学に関する基礎知識を整理できない。

学習・教育到達目標	(G)②	JABEE基準1(2)	(f)

達 成 度 評 価 （%）

評価方法 / 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	20	20	40	20					100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	◎	○					
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】	○	○	○	◎					
汎用的技能【 】									
態度・志向性(人間力)【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力【 】									

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	電気基礎分野の全教科
教科書	「やさしい電気・電子英語」 青柳　忠克 （オーム社）
補助教材等	各種電気通信工学関連書、電気英語各種参考書

学習上の留意点
文章的には平易な英文でも、専門用語が入るととたんに難しいものになる。本講義では比較的簡単な専門用語が出てくる英文を訳して読めるようになることを目標としている。

担当教員からのメッセージ
専門機器のマニュアル等、専門英語に触れる機会は非常に多い。専門英語は文法的には平易なものが多いが、独特な言い回し等があるので、それらを学んでおく意義は大きい。機械の英語の操作マニュアル程度は読めるようになることを目指している。

授　業　の　明　細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
1	導入	・講義の位置付けを説明できる。	
2	電気とは何か？	・講義で学習した範囲の英文が正しく理解できること。 物質の構造と電気～乾電池	（予習）教科書の該当範囲を読み、和訳しておくこと （復習）講義後、自分の訳で間違っていた個所について見直しておくこと
3	電気とは何か？ 電気理論の基礎	・講義で学習した範囲の英文が正しく理解できること。 電界（電場）～材料と抵抗	
4	電気理論の基礎	・講義で学習した範囲の英文が正しく理解できること。 電気計測～交流回路の抵抗	
5	小テスト	・ここまでのまとめとして試験を実施する	
6	電気理論の基礎 電子理論の基礎	・講義で学習した範囲の英文が正しく理解できること。 交流回路のインダクタンス～不順物半導体	（予習）教科書の該当範囲を読み、和訳しておくこと （復習）講義後、自分の訳で間違っていた個所について見直しておくこと
7	電子理論の基礎	・講義で学習した範囲の英文が正しく理解できること。 pn接合ダイオード～増幅器（アンプ）	
8	**中間試験**		
9	電子理論の基礎 電気の利用と施設	・講義で学習した範囲の英文が正しく理解できること。 真空管～変圧器	（予習）教科書の該当範囲を読み、和訳しておくこと （復習）講義後、自分の訳で間違っていた個所について見直しておくこと
10	電気の利用と施設	・講義で学習した範囲の英文が正しく理解できること。 電気加熱～交流から直流への変換	
11	電気の利用と施設 電子技術の応用	・講義で学習した範囲の英文が正しく理解できること。 電気めっき～テレビジョン	
12	小テスト	・ここまでのまとめとして試験を実施する	
13	電子技術の応用 電子計算機	・講義で学習した範囲の英文が正しく理解できること。 電子顕微鏡～コンピュータの記憶	（予習）教科書の該当範囲を読み、和訳しておくこと （復習）講義後、自分の訳で間違っていた個所について見直しておくこと
14	電子計算機	・講義で学習した範囲の英文が正しく理解できること。 中央処理装置～液晶ディスプレイ	
	期末試験		
15	まとめ	・学習事項全体のまとめを行う。また授業アンケートを行う。	
総 学 習 時 間 数			45 時間
講　　義			30 時間
自学自習			15 時間